



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン：第9期国会議員選挙をめぐる動き

(23日付ケイハーン紙ほか)

1. 選挙法違反防止特別本部の設置 (23日付ケイハーン紙)

- (1) サーデグ・アーモリー・ラーリージャーニー司法権長官の通達により、国会議員選挙における選挙法違反防止特別本部が設置される。また、全国に選挙法違反に関する特別裁判所支部が設置され、(関連する) 法的事案が最優先で調査される。
- (2) ラーリージャーニー司法権長官は、ゴラームホセイン・モフセニー・エジェイー検事総長を、同特別本部の本部長に任命した。また、ゾルガドル司法権・社会・犯罪防止次官(注：革命防衛隊出身。元内務次官。前国軍参謀本部バスィージ担当部長)を、同本部の副部長に任命した。

2. 原則主義派団結戦線(7+8委員会)の第2回全国集会 (27日付ハムシャフリー紙ほか)

- (1) 24日、原則主義派団結戦線の代表者約1000名の出席の下、2回目となる同戦線の全国集会が行われた。専門家会議のマフダヴィー・キャニー議長に加え、ヴェラーヤティー同戦線報道官、ハッダードアーデル同戦線中央評議会メンバーがそれぞれ演説を行い、原則主義派の団結、イスラム覚醒の情勢下での国会議員選挙の重要性等について述べた。
- (2) セイエドレザー・タガヴィー同戦線中央評議会メンバーは、「同戦線はテヘラン州を他の州と分けて考えており、その点、同戦線中央評議会に名を連ねるにふさわしい人物は、その業績に鑑み、テヘラン市のガリバーフ市長である」と述べた。

3. 大統領派の動き

(1) レイ市行政区長官の罷免 (21日付シャルグ紙)

- ・ テヘラン州のタマドン知事は、(罷免された) レイ市行政区のファラジ長官の送別式において、「政府の中には様々な政治傾向が存在しており、一部の(人事上の)変更の原因となっているが、これは自然なことである」と述べた。
- ・ ファラジ長官は、同式典において、「在任中、私の仕事ぶりを批判する者たちもいたが、任期が終わる頃には、彼らは逸脱勢力(注：大統領派の一部)に対する私の抵抗について、感謝していた」と述べた。
- ・ 同式典の終了後、式典会場前に約300人が集まり、「アフマディーネジャードよ、マシヤーイーを手放せ」「逸脱勢力はレイ市の若者からの攻撃を待つがよい」「レイ市は、騒擾勢力(注：改革派の一部)の墓場となったが、同様に、逸脱勢力を排除するだろう」

などのスローガンを叫んだ。

(2) ガズヴィーン州知事の交代 (27日付シャルグ紙)

- ・ シースターン・バルーチェスターン州のアーザード知事が、前任のアフマドアジャム前知事に代わり、ガズヴィーン州知事に任命されてから、約3週間が経過したが、同新知事の公式な招待式が延期されている。他方、ガズヴィーン州金曜礼拝導師兼最高指導者名代であるバーリークビーン師が、同新知事の任命に反対している（注；大統領派は、第9期国会議員選挙を前にして、選挙に影響力を有するとされる地方の行政担当者の交代を進めていると指摘されているが、一部では、地元の有力者からの反発が生じているようである）。